

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（3日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | |
|-------|----------------------------|---------|--------------|
| 団体名 | 白糠町 | 代表者名 | 棚野孝夫 |
| 担当者部署 | 企画総務部総務課情報統計係 | 連絡先電話番号 | 01547-2-2171 |
| 担当者役職 | 係長 | 担当者氏名 | 佐藤陽平 |
| 住所 | 088-0392 北海道白糠町西1条南1丁目1番地1 | | |

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|---|-------|
| アドバイザー | 白井 芳明 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に） | |
| アドバイザー への要望事項 | |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | 派遣日 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） | 活動時間（分） |
|---------|------------|-----------|--------|----------|---------|
| 3-1. 活動 | 2022年2月28日 | 10時00分 | 14時30分 | 90 | 180 |
| | 派遣形態 | 講演（オンライン） | | | |

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

| | |
|------|--------------------------------------|
| 掲載許可 | <input checked="" type="radio"/> 掲載可 |
|------|--------------------------------------|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|----------------|-------------------------|-----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 人数 |
| | 職員 | 28人 |

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

| | | |
|---|---|-------------------------|
| 事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい） | 全庁的な取り組みとなるDX事業においては、役場全職員による取り組みむことが重要と考えているが、DXに対する意識が高いと言えず、担当課の声がなかなか職員へ届いていないのが現実であり、一番悩ましいところであるのである。 | |
| 支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい） | DXに関する勉強会（講演）を実施し、職員への啓発を図る（係長職対象） | |
| アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい） | 勉強会の講師を務めていただく 内容：DXの概要、自治体DXとデジタルガバメント、自治体システムの標準化・オンライン化への対応等 | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい） | 職員のDXに対する意識を高めることができた | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 （具体的にご記入ください） | DXの取り組みは、継続して検討・実施していく | |

| | | |
|---------------|--|-----------------------|
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 勉強会に関するアンケートは現時点では実施していないが、内容については役場全体に周知する予定である。また、DXに関して各担当からの意見集約を早急を実施していく | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものリストより選択下さい | ③现阶段では課題・問題が残っているため未定 |
| 事業の最終的な目指す姿 | | |

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

